

平成30年9月3日（月）午前9時00分～

市庁舎8階 8A会議室

第2回横浜市地域療育センター指定管理者選定委員会

次 第

- 1 委員紹介
- 2 現指定管理者によるプレゼンテーション、ヒアリング
(南部地域療育センター、中部地域療育センター、東部地域療育センター分)
- 3 評価に関する意見交換
- 4 採点・集計
- 5 総評
- 6 その他

《今後の日程》

第3回選定委員会

(社会福祉法人リハビリテーション事業団 プレゼンテーション、ヒアリング、評価)

○日時：9月7日（金）9時30分～12時30分

○場所：市庁舎8階 8A会議室

平成30年7月5日現在

横浜市地域療育センター指定管理者選定委員会委員名簿

職	氏名	備考
弁護士	小坏 淳子	
税理士	上甲 雅敬	
横浜障害児を守る連絡協議会会長	森 佳代子	
小田原短期大学学長	吉田 眞理	
横浜市立大学医学部助教	渡辺 好宏	
横浜市南部地域療育センター 保護者会代表	中根 広美	※臨時委員 横浜市南部地域療育セン ターの選定に参加
横浜市戸塚地域療育センター 保護者会代表	竹村 淳子	※臨時委員 横浜市戸塚地域療育セン ターの選定に参加
横浜市北部地域療育センター 保護者会代表	中尾 仁美	※臨時委員 横浜市北部地域療育セン ターの選定に参加
横浜市中部地域療育センター 保護者会代表	下永 美穂	※臨時委員 横浜市中部地域療育セン ターの選定に参加
横浜市西部地域療育センター 保護者会代表	小泉 玲子	※臨時委員 横浜市西部地域療育セン ターの選定に参加
横浜市東部地域療育センター 保護者会代表	保科 眞理	※臨時委員 横浜市東部地域療育セン ターの選定に参加

(敬称略、五十音順)

※臨時委員は所属療育センターの設立順

○タイムスケジュール

■全体の時間配分（計3時間（180分））

- ・プレゼンテーション：45分
- ・ヒアリング：54分
- ・評価、選定：60分
- ・休憩：10分

■時間配分のイメージ

プレゼンテーション・ヒアリング									休	評価・選定・総評			
①法人全体に関するプレゼン	①法人全体に関するヒアリング	②南部センターのプレゼン	②南部センターに関するヒアリング	休憩 5分	③中部センターのプレゼン	③中部センターに関するヒアリング	④東部センターのプレゼン	④東部センターに関するヒアリング	休憩 5分	評価に関する意見交換 ・ 各自点数の確認	採点確定 ・ 提出	集計作業 20分 (休憩：10分 説明：10分)	総評 10分
9分	9分	12分	15分		12分	15分	12分	15分		20分（各10分）	10分		

※プレゼンテーションは、最大45分の範囲内で各法人の裁量により時間配分を変更することを可能とする。

ただし、配分においては各センターに関するプレゼンテーションの時間を「1センターあたり最低10分以上」確保することとする。

（例：上記のように「法人全体・Aセンター・Bセンター・Cセンター」の順でプレゼンテーションを行う場合

15分・10分・10分・10分、6分・13分・13分・13分などは可。18分・9分・9分・9分、30分・5分・5分・5分などは不可。）

※ヒアリングの時間は、プレゼンテーションの時間配分に応じて調整する。

評価基準

↓ここに入力

評価項目	配点	配点内訳	(採点)										採点	係数	採点結果
			極めて良好 極めて適切	良好・適切	普通	一部課題あり	不良・不適切	1	2	3	4	5			
1 法人の状況について	30	30											-		
(1) 財務状況	10	10	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
(2) 監査結果	10	10	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
(3) 職員状況	10	10	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
2 これまでの取組・実績について	485	485											-		
(1) センター全体	235	235											-		
①運営全般	50	療育に関する地域の中核機関としての役割を果たしているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
		全体としてこれまでの施設運営は十分な努力が感じられるものであるか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
		療育に関する施策の提言等、市の施策への協力に努めているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
②利用者の尊重	30	センター運営の基本的考え方、運営方針は利用者を尊重したものであるか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		苦情、要望を受け入れるための仕組みは整備されているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		個々の子どもに応じた支援計画が必要に応じて適切に作成されているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
③開かれた運営	15	センターに関する情報提供をホームページ等で行っているか。	5	5	4	3	2	1		×1.0					
		地域との情報交換、意見交換の機会を設けているか。	5	5	4	3	2	1		×1.0					
		実習生、ボランティア等の受け入れを適切に行っているか。	5	5	4	3	2	1		×1.0					
④災害・事故等への対応	50	災害発生時の対応が確立しているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		事故防止のための取組が適切に行われているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		感染症への対策が講じられているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		食物アレルギーへの対策が講じられているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		個人情報の管理は適切に行われているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
⑤総合的な支援	60	各部門、職種、職員が連携するための仕組みが整えられているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		支援はセンターとして一貫性のあるものであるか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		子どものライフステージを意識し、支援が行われているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		医療的ケアが必要な子ども等への支援が適切に行われているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		保護者支援の取組は十分行われているか。	20	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
⑥人材の育成	30	人材育成の考え方は適切か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		専門性を維持するための取組は十分行われているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		年間の研修計画が作成され、適切に実践されているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
(2) 診療	60	診療所の運営の基本的な考え方は適切か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		診察の実施状況は良好か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		訓練指導(心理・理学・作業・言語聴覚療法)の実施状況は良好か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		外来グループの実施状況は良好か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		子どもへの対応、接し方は適切か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		保護者への説明等は適切で、配慮のあるものであるか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		(3) 通園施設支援	70	通園施設の運営の基本的な考え方は適切か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
クラス編成や通園形態の設定は適切か。	10	9		8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0		
個別支援計画の作成、見直しは適切に行われているか。	10	9		8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0		
通園プログラムの内容は適切か。	10	9		8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0		
指導室等の環境設定は適切か。	10	9		8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0		
子どもへの対応、接し方は適切か。	10	9		8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0		
保護者への説明等は適切で、配慮のあるものであるか。	10	9		8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0		
(4) 発達障害児通所支援	30	発達障害児通所支援の基本的な考え方は適切か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		プログラムの内容は適切か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		指導室等の環境設定は適切か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
(5) 地域支援	50	地域の関係機関支援の基本的な考え方は適切か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		保育所、幼稚園等への支援の実施状況は良好か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		地域訓練会への支援の実施状況は良好か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		小学校への支援の実施状況は良好か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		区福祉保健センター、児童相談所、地域の医療機関等との連携は適切か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
(6) 相談支援	20	相談支援の基本的な考え方は適切か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		相談支援の実施状況は良好か。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
(7) 自主事業等	20	センター独自の取組を実施しているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		内容は利用者のニーズやセンターの目的に合致しているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
3 今後の取組・事業計画について	300	300											-		
(1) センター全体	80	現状の課題の把握は適切か。	20	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
		今後の人材育成の考え方、取組の内容は適切か。	20	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
		センターの今後のあり方、方向性について、見通しを有しているか。	20	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
		全体として今後の施設運営は期待が持てるものであるか。	20	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
(2) 診療	40	現状の課題の把握は適切か。	20	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
		今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。	20	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
(3) 通園施設支援	40	現状の課題の把握は適切か。	20	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
		今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。	20	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
(4) 発達障害児通所支援	40	現状の課題の把握は適切か。	20	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
		今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。	20	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
(5) 地域支援	40	現状の課題の把握は適切か。	20	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
		今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。	20	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
(6) 相談支援	40	現状の課題の把握は適切か。	20	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
		今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。	20	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×2.0	
(7) 自主事業等	20	独自の取組の実施を予定しているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
		今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
4 収支状況・収支計画について	30	30											-		
(1) 収支状況	10	10	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
(2) 収支計画	10	10	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
(3) 経費節減の取組	10	10	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		×1.0	
合 計	845	845											-		

選定基準（案）

次の①、②の両方を満たすとき、現指定管理者を次期指定管理者として選定する。

- ① 評価基準全項目の満点中、委員全体の点数の平均が、515.45点以上（845点満点の6割1分以上）であるとき
- ② 評価基準の大項目 1～4 の各項目の満点中、委員全体の点数の平均が、1：6.3点以上、2：101.85点以上、3：63点以上、4：6.3点以上であるとき（各項目における満点の2割1分以上）であるとき

平成 25 年 9 月 24 日

横浜市長 林 文子 様

横浜市地域療育センター
指定管理者選定委員会 委員長 吉田眞理

地域療育センターの指定管理者の選定について

地域療育センターの指定管理者の選定について、現指定管理者を対象として書類審査、プレゼンテーション、ヒアリング等の実施により実績等を評価し、その結果、別添のとおり選定を行いましたので、横浜市地域療育センター指定管理者選定委員会要綱第 10 条に基づき報告します。

横浜市地域療育センター指定管理者選定委員会 選定結果報告書

地域療育センターの指定管理者の選定を行いましたので、以下のとおり選定結果を報告します。

1 横浜市地域療育センター指定管理者選定委員会委員

- 委員長 吉田 眞理（小田原女子短期大学保育学科教授）
委員 小坪 淳子（弁護士）
上甲 雅敬（税理士）
長谷山 景子（横浜障害児を守る連絡協議会会長）
森 雅亮（横浜市立大学附属市民総合医療センター
小児総合医療センター部長）
住吉 真由美（横浜市南部地域療育センター単独通園青い鳥父母の会会長）
西尾 比水（横浜市戸塚地域療育センター親の会「ひまわりの会」会長）
田中 沙織（横浜市北部地域療育センター親の会会長）
坂本 由美子（横浜市中部地域療育センター虹の会会長）
荒井 歩（横浜市西部地域療育センター親の会「Beads」会長）
浅川 素子（横浜市東部地域療育センター単独通園げんき父母の会代表）

※住吉委員以下、6名の委員は、自らが利用するセンターに係る選定に参加。

2 選定方法

横浜市地域療育センター6か所について、現指定管理者の実績等を評価し、①その結果が良好であり、今後も引き続き運営を行うことが適当と判断された場合は、横浜市地域療育センター条例第7条第5項の規定を適用し、現指定管理者を次期指定管理者として選定、②実績等の評価の結果が良好でない場合は公募による選定を実施、との横浜市の方針に基づき選定作業を行いました（次期指定期間は平成26年4月1日から平成31年3月31日まで）。

なお、現指定管理者の実績等に関する評価の方法・手段は次のとおりとしました。

- (1) 書類審査
- (2) 現指定管理者によるプレゼンテーション、ヒアリング
- (3) 現指定管理者による自己評価
- (4) センター見学
- (5) 第三者評価アンケート、統計資料確認等

3 選定経過

時期	経過
平成25年7月2日	第1回選定委員会開催 (評価基準、選定基準(※)、評価方法、選定スケジュール及び各様式等の決定) ※評価基準740点満点中の7割以上の点数を選定の基準とした

時 期	経 過
平成25年7月12日	現指定管理者への選定方法、申請書類作成等に関する通知
平成25年7月25日 ～8月2日	地域療育センター見学（希望する委員による）
平成25年8月1日	現指定管理者からの申請書類受領
平成25年8月29日	第2回選定委員会開催 （戸塚、北部、西部地域療育センターに関するプレゼンテーション及びヒアリング）
平成25年9月3日	第3回選定委員会開催 （南部、中部、東部地域療育センターに関するプレゼンテーション及びヒアリング）
平成25年9月10日	第4回選定委員会開催 （現指定管理者の評価、次期指定管理者の選定）

4 選定結果

(1) 選定団体

センター名	選定団体
横浜市南部地域療育センター	社会福祉法人青い鳥
横浜市戸塚地域療育センター	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団
横浜市北部地域療育センター	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団
横浜市中部地域療育センター	社会福祉法人青い鳥
横浜市西部地域療育センター	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団
横浜市東部地域療育センター	社会福祉法人青い鳥

(2) 審査結果

現指定管理者の実績等について、センターごとに評価基準による採点を行いました。

その結果、いずれのセンターについても、選定基準としてあらかじめ定めた740点満点中の7割以上（518点以上）の点数を得たため、良好な実績等を有すると認め、引き続きセンターを運営することが適当であると判断し、現指定管理者を次期指定管理者として選定しました。

なお、現指定管理者の選定基準では、6割以上の点数を得ることを基準としていましたが、今回は現指定管理期間中の実績等の評価を重視したため、7割以上の点数を基準としました。

センター名	選定団体	採点結果
横浜市南部地域療育センター	社会福祉法人青い鳥	654.0点
横浜市戸塚地域療育センター	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団	640.2点
横浜市北部地域療育センター	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団	639.3点
横浜市中部地域療育センター	社会福祉法人青い鳥	647.0点
横浜市西部地域療育センター	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団	635.3点
横浜市東部地域療育センター	社会福祉法人青い鳥	651.7点

※採点結果は各委員の採点の平均点（740点満点）。

※評価基準に基づく採点結果の詳細、評価項目ごとの配点等については別紙のとおりです。

(3) 審査総評

選定にあたっては、現指定管理者から提出された書類の審査、現指定管理者によるプレゼンテーション、ヒアリングのほか、第三者評価のアンケート等も踏まえた上で、評価基準に基づく採点を行いました。

別添の採点結果が示すとおり、採点の結果は選定基準において設定した7割以上の得点をいずれのセンターも大きく上回るものであり、このことは、現指定管理者のこれまでの実績等を高く評価し、現指定管理者が引き続きセンターの運営を行うことが適当と各委員が判断した結果であると考えています。

全体として、現指定管理者については、施設運営に対する熱意と責任感が十分に感じられ、ヒアリングにおける応答や、発達障害児の増加等に伴う利用児童数の増への取り組み等、様々な課題に対して工夫を凝らしながら、運営に取り組んでいることも伺えました。

今後も地域における療育の専門機関、中核機関として、利用者や地域のニーズに応え、責任を果たしていくことを期待します。

また、本選定委員会としては、選定結果を前提としながら、各地域療育センターの施設運営の更なる充実を願い、横浜市及び地域療育センター向けに、次の意見、要望事項等を付記することとしました。今後、地域療育センターの運営及び施策検討において、この意見等が反映されることを切に願います。

- 現在、取り組んでいる内容を進めていくことも含めての評価であり、今後の運営ではその取り組みをより充実させるよう努めること。
- 初診までの待機期間が長くなっているセンターにおいては、待機期間の短縮にこれまで以上の努力をお願いしたい。
- 地域療育センターにつながる年齢にかかわらず、集団療育等のサービスが適切に受けられる体制を検討いただきたい。
- 就学後には地域療育センターの支援が手薄になると感じている利用者が多いため、集団療育の卒園児及び学齢児への支援の充実を検討願いたい。
- 地域療育センターを卒園した後のことまで見据えて、親も一緒に育てるということにもこれまで以上に力を入れていただきたい。
- 質の高い職員を確保しつつ、効率的な運営をお願いしたい。

評価基準に基づく採点結果（各委員の平均点）※740点満点

評価項目	配点	配点内訳	採点結果						
			南部地域 療育センター (青い鳥)	戸塚地域 療育センター (リハ事業団)	北部地域 療育センター (リハ事業団)	中部地域 療育センター (青い鳥)	西部地域 療育センター (リハ事業団)	東部地域 療育センター (青い鳥)	
1 法人の状況について	30	30	28.3	26.3	26.0	28.0	27.3	28.3	
(1) 財務状況	10	10	9.7	8.7	8.7	9.7	8.7	9.7	
(2) 監査結果	10	10	9.3	9.3	9.0	9.3	9.3	9.3	
(3) 職員状況	10	10	9.3	8.3	8.3	9.0	9.3	9.3	
2 これまでの取組・実績について	420	420	364.8	359.0	358.3	357.2	356.3	362.8	
(1) センター全体	190	190	166.8	163.8	163.8	140.0	163.2	166.0	
①運営全般	50	療育に関する地域の中核機関としての役割を果たしているか。	20	18.3	17.7	17.3	18.3	17.0	18.0
		全体としてこれまでの施設運営は十分な努力が感じられるものであるか。	20	18.3	18.0	18.3	18.3	17.7	18.0
		療育に関する施策の提言等、市の施策への協力に努めているか。	10	8.8	8.8	8.3	8.2	8.5	8.7
②利用者の尊重	30	センター運営の基本的考え方、運営方針は利用者を尊重したものであるか。	10	9.0	8.5	8.5	9.0	8.8	8.5
		苦情、要望を受け入れるための仕組みは整備されているか。	10	8.7	8.5	8.7	8.7	8.5	8.7
		個々の子どもに応じた支援計画が必要に応じて適切に作成されているか。	10	8.7	8.3	8.5	8.0	8.3	8.7
③開かれた運営	15	センターに関する情報提供をホームページ等で行っているか。	5	4.3	4.0	3.8	4.3	4.0	4.2
		地域との情報交換、意見交換の機会を設けているか。	5	4.5	4.2	3.8	4.3	4.2	4.3
		実習生、ボランティア等の受け入れを適切に行っているか。	5	4.5	4.2	4.2	3.7	4.2	4.2
④災害・事故等への対応	25	災害発生時の対応が確立しているか。	5	3.8	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2
		事故防止のための取組が適切に行われているか。	5	3.7	4.2	4.0	4.2	4.3	4.3
		感染症への対策が講じられているか。	5	4.0	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3
		食物アレルギーへの対策が講じられているか。	5	4.5	4.3	4.3	4.5	4.3	4.5
		個人情報の管理は適切に行われているか。	5	4.2	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2
⑤総合的な支援	40	各部門、職種、職員が連携するための仕組みが整えられているか。	10	8.5	8.5	8.3	8.8	8.7	8.8
		支援はセンターとして一貫性のあるものであるか。	10	8.7	8.5	8.5	8.7	8.8	8.7
		保護者を対象とした勉強会等が適切に実施されているか。	10	8.8	8.7	9.0	8.0	8.7	9.0
		保護者支援の取組は十分行われているか。	10	8.7	8.5	8.2	7.8	8.2	8.3
⑥人材の育成	30	人材育成の考え方は適切か。	10	9.0	8.7	9.0	8.8	8.2	8.8
		専門性を維持するための取組は十分行われているか。	10	8.8	8.7	8.8	8.8	8.8	8.8
		年間の研修計画が作成され、適切に実践されているか。	10	9.0	8.8	9.2	9.0	9.0	8.8
(2) 診療	60	診療所の運営の基本的な考え方は適切か。	10	8.8	9.2	9.0	9.0	8.8	8.8
		診療の実施状況は良好か。	10	8.3	8.0	7.8	8.2	8.0	8.5
		訓練指導(心理・理学・作業・言語聴覚療法)の実施状況は良好か。	10	8.5	8.3	8.5	8.5	8.5	8.7
		外来グループの実施状況は良好か。	10	8.5	8.5	8.5	8.3	8.5	8.5
		子どもへの対応、接し方は適切か。	10	8.7	8.8	8.5	8.3	8.8	8.7
		保護者への説明等は適切で、配慮のあるものであるか。	10	8.3	8.2	8.2	8.0	7.8	8.5
(3) 通園施設支援	70	通園施設の運営の基本的な考え方は適切か。	10	8.8	8.7	8.7	8.8	8.8	8.8
		クラス編成や通園形態の設定は適切か。	10	8.7	8.2	8.3	8.0	8.5	8.5
		個別支援計画の作成、見直しは適切に行われているか。	10	8.7	8.7	8.7	8.0	8.7	8.7
		通園プログラムの内容は適切か。	10	8.7	8.2	8.2	8.0	8.5	8.7
		指導室等の環境設定は適切か。	10	8.3	8.2	8.5	7.8	8.3	8.5
		子どもへの対応、接し方は適切か。	10	8.5	8.3	8.3	8.3	8.5	8.5
		保護者への説明等は適切で、配慮のあるものであるか。	10	8.3	8.0	8.3	8.3	8.3	8.5
(4) 発達障害児通所支援	30	発達障害児通所支援の基本的な考え方は適切か。	10	8.8	9.0	9.0	9.0	8.5	9.0
		プログラムの内容は適切か。	10	8.8	9.0	8.8	8.3	8.3	8.7
		指導室等の環境設定は適切か。	10	8.7	8.2	8.7	8.7	8.2	8.7
(5) 地域支援	50	地域の関係機関支援の基本的な考え方は適切か。	10	8.8	8.3	7.8	8.7	8.2	8.5
		幼稚園、保育所等への支援の実施状況は良好か。	10	8.5	8.3	8.3	8.7	8.3	8.2
		地域訓練会への支援の実施状況は良好か。	10	8.5	8.5	8.2	7.7	8.0	8.2
		小学校への支援の実施状況は良好か。	10	8.5	8.3	8.3	8.5	7.8	8.2
		区福祉保健センター、児童相談所等との連携は良好か。	10	8.3	8.7	8.2	8.7	7.8	8.3
(6) 自主事業等	20	センター独自の取組を実施しているか。	10	9.0	9.0	9.0	8.8	9.2	8.7
		内容は利用者のニーズやセンターの目的に合致しているか。	10	8.8	8.7	8.7	8.3	8.7	8.7
3 今後の取組・事業計画について	260	260	233.0	227.3	228.8	233.8	224.3	232.5	
(1) センター全体	80	現状の課題の把握は適切か。	20	17.7	17.0	17.3	18.3	16.7	18.0
		今後の人材育成の考え方、取組の内容は適切か。	20	18.0	17.0	17.3	18.0	16.7	18.0
		センターの今後のあり方、方向性について、見通しを有しているか。	20	18.0	18.0	18.0	18.3	18.0	18.0
		全体として今後の施設運営は期待が持てるものであるか。	20	18.0	17.7	18.0	18.3	18.0	18.3
(2) 診療	40	現状の課題の把握は適切か。	20	18.0	18.0	18.0	18.0	17.3	18.0
		今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。	20	18.0	18.3	18.0	18.0	17.3	17.7
(3) 通園施設支援	40	現状の課題の把握は適切か。	20	18.0	17.3	17.7	18.0	17.7	18.0
		今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。	20	18.0	17.7	17.7	18.0	17.7	17.7
(4) 発達障害児通所支援	40	現状の課題の把握は適切か。	20	18.0	17.7	18.0	17.7	17.0	18.0
		今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。	20	18.0	17.7	18.0	17.7	17.0	17.7
(5) 地域支援	40	現状の課題の把握は適切か。	20	17.7	17.0	16.7	18.0	16.7	18.0
		今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。	20	18.0	17.3	17.0	18.0	17.0	17.7
(6) 自主事業等	20	独自の取組の実施を予定しているか。	10	8.8	8.2	8.5	9.0	8.5	8.8
		今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。	10	8.8	8.5	8.7	8.5	8.8	8.7
4 収支状況・収支計画について	30	30	28.8	27.5	26.2	28.0	27.3	28.0	
(1) 収支状況	10	10	9.7	9.3	8.3	9.7	9.3	9.7	
(2) 収支計画	10	10	10.3	9.3	9.0	9.3	9.0	9.3	
(3) 経費節減の取組	10	10	8.8	8.8	8.8	9.0	9.0	9.0	
合 計	740	740	655.0	640.2	639.3	647.0	635.3	651.7	

※合計及び小計については、各委員の得点の合計をもとに平均点を算出しています(小数点以下の端数処理の関係で各項目の平均点の合計とは一致しない場合があります)。